

1. 設置状況

名 称	担 当地 域	運 営 主 体
島田市第一・北中学校区 地域包括支援センター	島田第一中学校区 北中学校区	医療法人社団健社会
島田市第二中学校区 地域包括支援センター	島田第二中学校区	社会福祉法人島田市社会福祉協議会
島田市初倉中学校区 地域包括支援センター	初倉中学校区	社会福祉法人島田福祉の杜
島田市六合中学校区 地域包括支援センター	六合中学校区	
島田市金谷中学校区 地域包括支援センター	金谷中学校区	社会福祉法人島田市社会福祉協議会
島田市川根中学校区 地域包括支援センター	川根中学校区	

2. 地域支援事業

(1) 包括的支援事業

① 介護予防ケアマネジメント業務（指定介護予防支援事業所分と合わせて計上）

	島田市全体				各包括						
	H29 年度	H30 年度	R元 年度	R2 年度	第一 ・北	第二	六合	初倉	金谷	川根	
新規契約者数	493	350	317	308	102	57	37	38	54	20	
介護予防サービス 計画作成数（件）	2,782	2,058	1,756	1,689	402	417	201	177	312	180	
内 訳	委託分	1,550	1,064	739	740	177	180	92	130	119	42
	包括分	1,232	994	1,017	949	225	237	109	47	193	138
サービス終了後評価数(人)	2,476	2,093	1,647	1,527	362	404	184	96	312	169	

要支援認定者及び介護予防・生活支援サービス事業対象者に対する介護予防ケアマネジメント

\*委託先：居宅介護予防支援事業所 市内 34 事業所 市外 38 事業所

令和元年度の介護予防サービス終了後評価数 1,527 人

(内訳) 状態を維持している 81 人、計画変更 1,260 人、要介護に移行した 95 人、一般介護  
予防事業利用 43 人、死亡・転居 11 人、その他入所等 37 人

## ②総合相談支援業務

相談件数

	島田市全体				各包括					
	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	第一・北	第二	六合	初倉	金谷	川根
新規受付件数	2,166	2,153	1,948	2,143	453	544	233	234	479	200
継続対応	4,496	4,252	4,397	5,001	1,277	823	807	690	936	468
合計	6,662	6,405	6,346	7,144	1,730	1,367	1,040	924	1,415	668

相談内容

相談内容	R2年度件数（割合）
介護・サービス利用	4,755（66.6%）
健康・医療	792（11.1%）
生活費・金銭管理	164（2.3%）
家族関係	123（1.7%）
サービス等の苦情	26（0.4%）
住居	80（1.1%）
権利擁護（成年後見制度等）	104（1.5%）
消費生活（消費者被害）	22（0.3%）
高齢者虐待	164（2.3%）
認知症	581（8.1%）
その他	333（4.7%）

## ③権利擁護業務

年度別高齢者虐待にかかる相談取扱件数（養護者による虐待）

年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
件数	26件	27件	17件	19件

令和2年度の状況

認定 ・虐待を確認または虐待と判断 9件（前年度からの継続ケースを含む）  
 ・その他（虐待でない・通常支援） 10件

種別	身体的虐待	放棄・放任	心理的虐待	性的虐待	経済的虐待	合計
件数※	7件	2件	1件	0件	0件	10件

※9件の内訳（重複ケースあり）

## ④包括的・継続的マネジメント支援業務

介護支援専門員に対する個別支援

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
ケースの相談	1,324件	1,305件	1,257件	1,429件
困難事例（再）	419件	359件	516件	595件
プランケアマネジメント指導	479件	647件	473件	446件

○島田市主任介護支援専門員連絡会：3回

○事例研究会：2回（10月、2月）：延べ 102人参加

○ケアマネットしまだ 役員会9回、

研修会1回（11月）

「コロナとのつきあい方」～オンラインの活用～

（48人参加：リモート39人、会場9人）

講師：みどりや薬局 薬剤師 清水 雅之 氏

○介護支援専門員研修 1回

1月 「地域包括ケアシステムから地域共生社会にむけて」  
 ～高齢者の自立支援に向けて介護支援専門員にできること～  
 (46人参加：リモート39人、会場9人)

講師：県立大学経営情報学部 経営情報イノベーション研究科 東野 定律 氏

(2)多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築

①地域ケア会議の開催

地域課題の検討 8回

第一 ・北	回数 1回 テーマ ・中溝町の地域活動について
第二	回数 2回 テーマ ・新田町地区のしまトレ開催について ・ばらの丘地区のしまトレ開所について
六合	回数 2回 テーマ ・岸町介護者の家族会開催について ・東町移動スーパー開始
初倉	回数 1回 テーマ ・ワークセンターあさがおでしまトレを行う事で、地域にひらかれたしまトレの場所となる
金谷	回数 1回 テーマ ・「新しい生活様式」に合わせた高齢者支援と連携について
川根	回数 1回 テーマ ・しまトレの立ち上げについて

個別ケースの検討 33回

第一 ・北	回数 10回 テーマ ・日常生活に多重課題を抱えているが、親族が遠方にいる高齢者の今後の支援体制について ・自宅の管理ができない高齢者の、今のままの生活を続けたいという意向をどこまで尊重するのかについて ・本人・家族共に在宅生活を希望されているが、認知症の進行により独居生活が難しくなっている方に対する支援体制について ・認知症高齢者が同居している長男からお金の無心や暴言を受けているため、施設入所を考えている長男からの妨害なくスムーズに入所する方法を支援者で検討し対策を共有し支援する。 ・独居での生活が日常的に毎日家族やヘルパーの支援が必要になってきているケースについて ・キーパーソン(精神障害者の息子)と認知症高齢者の在宅生活を支えるための支援体制を構築する ・住み慣れた自宅でその人らしい生活を送るための認知症高齢者の支援
----------	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険在宅サービスの利用や施設入所も選択肢の一つとして検討が必要な認知症高齢者の意思決定支援</li> <li>・脳出血の後遺症を抱えていても望む生活を叶えるために意思や意向が表明でき、支援者は本人の意思を共有し受け止め支援する</li> <li>・独居生活に日常的なヘルパーの支援が必要になってきたケースについて</li> </ul>
第二	回数 9回 テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅生活の支援を地域や関係者が不安なく行うために</li> <li>・介護保健制度への理解が得られない高齢者への支援方法について</li> <li>・対象となる訪問介護の生活支援の回数検証</li> <li>・認知症でも在宅生活を安心して送る</li> <li>・金銭管理ができ安心して在宅生活を送る</li> <li>・今後の対応に活かすための困難ケースの振り返り</li> <li>・療養病院に入院して治療を行う</li> <li>・親族から支援を拒否され、主治医もいない方の支援について</li> <li>・後見制度利用し在宅生活を送る</li> </ul>
六合	回数 5回 テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人暮らしの認知症高齢者が周囲の協力を受け、在宅生活を送れる</li> <li>・本人の声を聴きながら、今までの生活が送れるようにする</li> <li>・レビー小体型認知症で生活に不安がある高齢者に介護保険サービスを導入し居場所を探す</li> <li>・困窮している8050世帯の支援方法について</li> <li>・認知症高齢者の意思決定支援を行う</li> </ul>
初倉	回数 3回 テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の進行により、近隣住民・事業所が対応に苦慮している</li> <li>・認知機能の低下により家族・近隣住民との情報共有を行い、対応方法を統一</li> <li>・物忘れの進行がある中での在宅サービス開始に伴う地域との情報共有</li> </ul>
金谷	回数 5回 テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>・身寄りがない独居高齢者の支援体制について</li> <li>・妄想が強い独居高齢者の支援について</li> <li>・認知症があり、短期記憶の障害で不安が強くなっている高齢者の支援について</li> <li>・息子と二人暮らしをしている精神疾患・認知症のある高齢者の支援体制について</li> <li>・独居高齢者の支援について</li> </ul>
川根	回数 1回 テーマ <ul style="list-style-type: none"> <li>・重症認知症のある方を適切なサービス利用に繋げる</li> </ul>